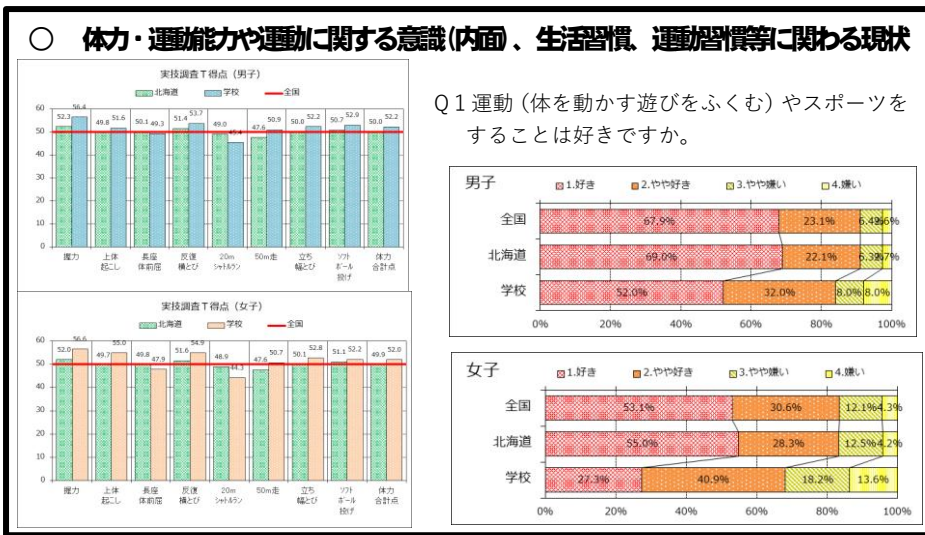


美瑛町立美瑛小学校

- ・ 体力向上プラン
- ・ 実践概要

令和4年度 美瑛町立美瑛小学校 体力向上プラン

1 自校の児童の体力・運動能力等に関わる現状



2 自校の児童の体力・運動能力等の現状から分析した課題

- **体力・運動能力等に関わる課題**
- ・種目別で見ると、「握力」「上体起こし」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」については、全国平均を上回っている学年が多いことから、筋力、瞬発力においてよさが見られた。
 - ・「20mシャトルラン」では、低学年で全国平均を上回り、高学年では下回る傾向が見られた。

- **生活習慣、運動習慣に関わる課題**
- ・運動やスポーツをすることが「嫌い」「やや嫌い」と回答した児童が男子で16%、女子では32%であった。
 - ・1週間に運動する時間が60分未満の女子の割合が31%であった。

3 自校の児童の体力・運動能力等に係る目標

- **体力・運動能力等に関わる目標**
- ・体育の導入場面で、「折り返し運動」を取り入れ、走り方を意識させるとともに、グラウンドでの体育の授業では、ランニングを取り入れるなど、走る機会を増やす工夫をする。
 - ・柔軟性を育むための運動を取り入れる。

- **生活習慣、運動習慣に関わる目標**
- ・体育の授業で児童が日常的に運動に親しむことができるような活動を取り入れ、授業以外でも運動を楽しむことができるよう授業改善を行う。

4 自校の児童生徒の体力・運動能力等に関わる目標達成状況

- **体力・運動能力等に関わる目標の達成状況に対する評価指標**
- 【評価方法】
- ・新体力テストの結果の分析
 - ・期末の児童に対するアンケート
- 【成果指標】
- ・「長座体前屈」と「20mシャトルラン」の平均を全国平均以上
- 【評価結果】
- ・中間評価(10月)
 - 第5学年の20mシャトルランで男子は48.5回、女子は38.6回と全国平均を下回った。今後も走力を高めるための運動を取り入れていく必要がある。
 - ・最終評価(2月)

- **生活習慣、運動習慣に関わる目標の達成状況に対する評価指標**
- 【評価方法】
- ・期末の児童に対するアンケート
 - ・学校評価
- 【成果指標】
- ・「運動やスポーツをすることが好き」と回答する児童を80%以上
- 【評価結果】
- ・中間評価(10月)
 - ・最終評価(2月)
 - 「自らの体力・運動能力や健康の増進を図るとともに、自らの命を守る安全教育の充実に努める。」の評価は3.7であり、年間を通じた体力向上の成果と考える。

5 自校の児童の体力・運動能力等に応じた具体的な取組【1校1実践】

- 1 **楽しい体育のための授業改善**
- ・体育エキスパート教員と学級担任とのTTによる授業を通して、児童が「楽しい」と思える授業にむけ、計画、実行、振り返りの充実を図る。
 - ・授業改善に向けた授業計画やT1とT2の連携、授業準備等について、円滑に行えるようきめ細かな打合せを行う。
- 2 **日常生活**
- ・玄関横のアスファルトに「ケンケンパ」ができる輪をマークしたり、冬のグラウンドに、雪合戦ができる壁や小さな雪山を設置したりするなど、体育の授業以外でも運動に親しむことができる設備や取組を工夫する。

- 【取組指標】
- 1 児童アンケート
- ・「運動やスポーツをすることが好き」という児童を80%以上にする。

6 次年度に向けた具体的な取組の改善・充実

- ・日常生活の中で進んで運動に取り組むことができる環境づくりを行う。
- ・勤務校以外へ体育通信を配付したり、実技研修を開催したりして、体力向上の取組を周知する。
- ・幼小連携した取組を更に推進するため、幼稚園・保育所で体育の授業につながる運動遊びの実施を継続する。

目指す子どもの姿

- ・ 目標をもち、いろいろな運動に親しみ、技能を身につける子
- ・ 健康や安全に気をつける子

自己肯定感や主体的に運動に取り組む意欲を高める授業づくり



体育専科教員等の視点による
授業づくりのポイント

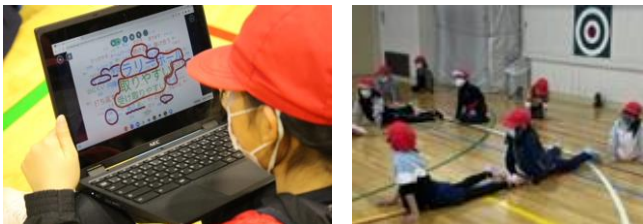
単元や内容のまとめりを見通した授業実践のポイント



■ 年間指導計画の改善

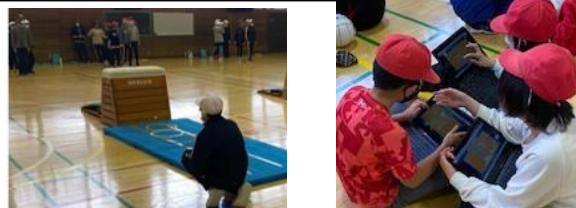
各学校のカリキュラムに合わせた年間指導計画を作成するとともに、年間指導計画(Word)と全学年の単元一覧表(Excel)をリンク付けし、容易にアクセスできる「資料集」を作成し、指導方法の工夫や改善を図る。

「導入」場面における指導の手立てのポイント



- テキストマイニングを使用した課題作成
- 準備運動の工夫
 - ・ 折り返し運動、鬼遊び等

「展開」場面における指導の手立てのポイント



- ICT(動画遅延アプリ)の活用
- 個の課題に合わせた練習場所の設定
 - ・ 自分や仲間の課題を解決するため、動画や実際の動きを見て、互いの考えを伝え合う場面の設定

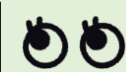
「まとめ」場面における指導の手立てのポイント



- ロイロノートを活用した振り返り
- 動画の提出
 - ・ 児童に自分の課題の達成状況を色で示させることによる児童一人一人の課題の達成状況を明確化



体力向上に向けた授業以外の組織的な取組



体育専科教員等の視点による
授業以外の取組のポイント

遊びの中で体力向上 環境整備



- 「ケンケンパ」の輪のマーカ―
- 冬のグラウンド遊び場づくり
 - ・冬休み中に保護者と作成した雪合戦の壁や小さな雪山を活用し、月1回程度、昼休みに学年全員で遊ぶ機会を設けた。

幼稚園・保育所で運動 幼小連携



- 運動を通じた幼小連携
 - ・3学期に町内の幼稚園・保育所で、小学校の体育授業につながる運動を行い、幼児の小学校への不安解消につなげるとともに、幼児の実態を把握するなど、幼小連携を推進することができた。

これまでの授業改善及び組織的な取組の成果

- 体力テストの分析、体育時の補強運動
 - ・「50m走」や「20mシャトルラン」に課題が見られることから、折り返し運動等、楽しみながら走力を高めるための運動を取り入れたことにより、運動に対する意欲を向上を図ることができた。
- 跳び箱、スキーの実技研修の実施
 - ・研修部と連携し、実技研修を行ったことで、研修内容を授業の中で取り入れ、児童を積極的に補助する教員が増加した。

体力向上に向けた今後の具体的な取組

- 日常的な遊びの中での体力向上
 - ・昼休みに全学年が鬼遊びをする時間として、「02(おに)の日」を設定するなど、日常の遊びの中で運動する機会の充実を図る。
- 体力向上に向けた取組の発信
 - ・勤務校以外に体力向上の取組を発信するため、体育通信の配付や実技研修及び幼小連携と関連させた幼稚園・保育所での指導を行う。